

リスボン近郊でゴルフを楽しむ

について



写真: Turismo de Portugal

リスボン近郊でゴルフを楽しむ

温暖な気候と湾岸の風景の美しさにより、リスボンは世界中から訪れるゴルファーに非常に人気の高いゴルフ地区になっています。

挑戦しがいのあるコースとしてロバート・トレント・ジョーンズ、ロッキー・ロケモア、ドナルド・スティール、フランク・ペニク、セベリアーノ・バステロス、ジョルジュ・サンタナ・ダ・シルヴァなどの著名な設計者の手になるゴルフコースは、その品質と多様性が卓越しており、それはホテルやクラブハウスでの快適さとハイレベルなサービスと一体となっています。

リスボンはいくつかの自然保護区や世界遺産に登録されているモニュメントと景観に近いので、ゴルフのために1日とる休日や、数日間集中してゴルフをプレーするための完璧な舞台となります。

この地域は、2007年と2003年にIAGTOによりヨーロッパのベスト・ゴルフ・デスティネーションに選ばれました。また、オーデュボン・インターナショナルによりサーティファイド・ゴールド・オーデュボン・シグナチャー・サンクチュアリを保有する、ヨーロッパで最初のゴルフコースが含まれています。

エストリル海岸 (COSTA DO ESTORIL) とシントラ (SINTRA) 山の間

挑戦しがいのあるコースを好むゴルファーには、シントラ、エストリル、カスカイスの間で素晴らしい時間を過ごすことができます。リスボンのすぐ手前に、入念にメンテナンスされているコースがいくつかあります。これらのコースは息を飲むような風景の中に、複雑なレイアウトで設定されています。

リスボンを出発して海岸沿いから海に向けて移動すると、1936年にマッケンジー・ロスにより再設計された、象徴的かつ歴史あるエストリル (Estoril) のゴルフコースに到着します。ここは、セベリアーノ・バステロスが17歳の時、スペイン以外の地域で始めてプロ選手権をプレーした場所です。このコースの起伏のある大地は松とユーカリの風景に溶け込んでおり、腕試しに最高の場所となることは間違いありません。

海岸沿いを進み、カスカイスを通り過ぎると、キンタ・ダ・マリーニャ (Quinta da Marinha) ゴルフ・クラブがあります。ここは平坦なコースですが、海とシントラ山を臨む見事な景観を楽しめます。設計者は伝説のゴルファー、ロバート・トレント・ジョーンズです。松の木々の間を縫うように配置されている13番ホールが最も印象的です。339メートルのパー4で、海に向かった下りの傾斜になっており、最後のグリーンでは海が背景になります。

ここでシントラの自然公園の海岸地区に入ってみましょう。そこで眼にするオイターヴォス (Oitavos) 砂丘自然リンクスゴルフはアメリカ人設計者、アーサー・ヒルズに設計を一任し、そこにある砂丘の生態系を大切に守っています。ここはヨーロッパで最初に、世界で2番目に、オーデュボン・インターナショナルにより「サーティファイド・ゴールド・オーデュボン・シグナチャー・サンクチュアリ」に表彰されたコースです。ペナ城とロカ岬の素晴らしい景観を背景にもつこのコースは、広く長いフェアウェイがあります

。しかし、大きなチャレンジとなるのは、きめ細やかなショットが要求される起伏のあるグリーンです。

シントラに向かうと、その前衛にあるペスターナ・ベロウラ (Pestana Beloura) ゴルフで非常に独特な設定を体験できます。40,000本以上のさまざまな種の木々がコース全体に点在しており、数多くの湖や蛇行河川のために緑地を縁取っています。これらがプロのゴルファーにも、ただ自分のテクニックに磨きをかけたいというゴルファーにも歓迎されるフェアウェイを形成しているのです。ここも、同じくシントラの近くにあるベラス・クルベ・デ・カンポ (Belas Clube de Campo) の素晴らしいレイアウトを設計したロッキー・ロケモアが設計したものです。非常に完成されていながら変化に富むこのコースは、さまざまなハンデのレベルに利用されます。さらに、特に注目に値する2つのホールを擁しています。すなわち、2番ホールと18番ホールです。「ビッグ・ホール」と呼ばれる記念すべきパー4で、ボールの第2打は、防御が堅い湖でしっかり守られているグリーンまで180メートルも飛ばさなければなりません。

タグス渓谷の風景の中でプレーするゴルフ

リスボンから50km未満、エルダデ・ダ・ヴァルジェン・フレスカ (Herdade da Vargem Fresca) の中にあるリバ・ゴルフ (Riba Golf) はコルク樫の森林の中にリパテージョの景観を挟んで、2つの18ホールのゴルフコースがあります。そこは自然に囲まれた農村の風景で、ヨーロッパ・ゴルフ・デザインの協賛を受けピーター・タウンSENDとマイケル・キングが設計したコースを擁しています。

さらに、ベナヴェンテ (Benavente) の近い、保護された農村地区の中に、ドナルド・スティールがサント・エステヴァン・ゴルフ (Santo Estevão Golf) を設計してくれました。独特な造園術を駆使した設定、コルク樫と、この土地の自然の起伏があらゆるレベルのプレーヤーに楽しいグリーンを提供しています。11番ホールでは、ヴィラ・ノヴァ・デ・サント・エステヴァン (Vila Nova de Santo Estevão) ダムの湖を一望する景観が壮観です。

リスボン南部

タグス川を渡ると、ゴルファーは非常に景観の美しい地区の中にいくつかのコースがあることに気が付きます。いずれも腕試しにもってこいのホールで、ロッキー・ロケモア、フランク・ペニンク、ロバート・トレント・ジョーンズが設計したものです。

大型の観光複合施設の中にあるアロエイラ (Aroeira) は、ペン A2 タイプの芝を使用したポルトガルで最初のゴルフコースです。この芝は、広大なグリーンを本当に速くプレーしがいのあるコースに変え、フェアウェイにはバンカーがあり、何度かその上を越えるようボールを飛ばさなければならない大きな湖が5つもあります。アロエイラ (Aroeira) はコスタ・ダ・カバリカ (Costa da Caparica) のビーチに近いですが、うっそうとした森が生い茂っています。フランク・ペニンクが設計したもので、主な国際ゴルフ・トーナメントの会場になったことがあります。

パルメラ (Palmela) の近くにあるモンタード・ゴルフコース (Montado Golf Course) は、この地区の特徴であるブドウ畑の風景に囲まれています。これが、他には見られないこのゴルフコースの特徴となっています。そのハイライトは18番ホールです。そのグリーンは小島の上にあります。

アラピダ山脈を背景に、ロッキー・ロケモアが設計したキンタ・ド・ペル・ゴルフコース (Quinta do Peru Golf Course) は、ヨーロッパ・ゴルフ誌によりトップ10のゴルフコースに選ばれました。これは、ヨーロッパ・チャレンジ・ツアーのラウンド会場になったという事実がそれを証明しています。

サド (Sado) 河口と海の間自然の風景がある地区で、素晴らしいトロイア (Tróia) の中にあるゴルフ・リンクは、その設計者、ロバート・トレント・ジョーンズが理想的なゴルフコースの18ホールの中に加えた有名なパー4 (3番ホール) があります。

ゴルフの他、この地域には、エスチュアリオ・ド・サド自然保護区 (Reserva Natural do Estuário do Sado) でイルカを見たり、自然公園の一部である地中海のアラピダ山脈 (Serra da Arrábida) をツーリングしたり、セトゥバル (Setúbal) とパルメラ (Palmela) の観光など、家族全員で楽しめるアトラクションが数多くあります。また、ここはワイン地区であることを決してお忘れなく。有名なアゼイタオンのバターチーズや新鮮な魚も名物料理として非常に人気です。